

15:30-16:05

05 Commodity Session

コモディティセッション

究極の二刀流？レバレッジ×レバレッジ！

資金効率を極める

FANG+ゴールド信用戦略！

会社員
兼業トレーダー
YouTuber
風丸氏



モデレーター

投資家、お金ナビゲーター、FP
陽和 ななみ氏

第一章

FANG+ゴールドの解説

FANG+とは?

FANG+は、ICE (Intercontinental Exchange) が算出・管理する株価指数 (インデックス) です。

次世代を牽引する米国のテクノロジー&イノベーション企業10銘柄で構成される成長投資戦略



原則固定の6銘柄 (FANG+の中核企業)

Apple・Microsoft・Google・Google・Amazon・Meta・Netflixは原則固定銘柄
安定した収益基盤と圧倒的な競争優位性を持つ企業群



Apple
アップル



Microsoft
マイクロソフト



Google
グーグル



Amazon
アマゾン



Facebook
フェイスブック



Netflix
ネットフリックス



入替対象の4銘柄 (成長性を評価して選定)

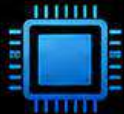
残り4銘柄は成長性や市場環境を踏まえて選定し、
より高いリターンを目指す



NVIDIA
エヌビディア



Broadcom
ブロードコム



Micron
マイクロン



Palantir
パランティア



均等加重平均

10銘柄を均等に組み入れることで、
特定銘柄への偏りを抑え、
安定した成長を追求



原則固定の6銘柄で 安定性を確保

原則固定銘柄が構成の中核を担い、
長期的な成長の安定性を確保



革新的な成長企業に 集中投資

AI、クラウド、半導体、ビッグデータなど
次世代テクノロジーをリードする
企業群に厳選投資



未来を創る テクノロジー企業群

世界市場で圧倒的な競争優位性を持つ
リーディングカンパニーで構成



FANG+は、ICE (Intercontinental Exchange) が算出・管理する株価指数です。

世界の投資家が注目するテクノロジー企業10社に、均等投資できるインデックスです。



次世代テクノロジーに
厳選投資



イノベーションの
最前線を捉える



長期的な資産成長の
実現を目指す





※Facebookは現 Meta Platforms、GoogleはAlphabetになります。

ゴールドとは？

時代を超えて価値を保つ、世界共通の安全資産



ゴールドの特徴・メリット

| | | | |
|---|--|--|--|
|  インフレヘッジ 物価上昇局面で 資産価値を守る |  有事の逃避先 経済・地政学リスクが 高まる局面で買われる |  価値の保存手段 長期的に価値が 劣化しにくい |  世界共通の資産 どの国でも価値が 認められる普遍性 |
|---|--|--|--|

なぜ今、ゴールドが注目されるのか？

- ✓ 世界的なインフレ懸念の高まり
- ✓ 地政学リスクの長期化・不透明感の増大
- ✓ 各国の金融緩和・財政拡大による通貨価値の低下リスク
- ✓ 中央銀行のゴールド買い増しトレンド

危機時に輝くゴールド

金融危機や市場の混乱時に、資産を守る力を発揮

| | | |
|---|--|---|
| リーマンショック (2008年) | コロナショック (2020年) | インフレ局面 (2021~2023年) |
| ゴールド +5.6% S&P500 -52.7% | ゴールド +25.3% S&P500 -27.0% | ゴールド +48.0% S&P500 -4.6% |
| 安全資産として 逃避資金が流入 | 不確実性の高まりで 大きく上昇 | インフレ進行局面で 価値を維持・上昇 |

※各期間の騰落率は米ドルベース ※出所：Bloomberg

ゴールドの本質

誰かの負債ではない資産

国家も企業も破綻する。しかし、ゴールドには発行体が存在しない。



預金

銀行の債務



国債

国の債務



社債

企業の債務



株式

企業価値への
請求権 (純資産)



ゴールド

発行体なし

ゴールドだけは発行体が存在しない

株式との相関性

株式との相関性は非常に低い

ゴールドは株式と異なる値動きをすることで
ポートフォリオの安定性を高める効果が
期待できます

ゴールドとS&P500の相関係数
(直近20年：2004/1~2024/4)

0.15

※期間によって変動します

ゴールド vs S&P500 (トータルリターン)

期間：直近5年(2021年7月~2026年7月)



※2021年7月を100として拡散化 ※出所：TradingView



ゴールドは「守りの資産」、FANG+は「攻めの資産」
両者を組み合わせることで、リスクを抑えながら長期的な資産成長を目指せます！

なぜ中央銀行は金を買う続けるのか？

世界最大の機関投資家を選ぶ資産

中央銀行による純購入量（四半期ごと／トン）*



2026年1Q
約240トン
高水準を維持

2016-2020年平均 約110トン
約2倍
2021-2025年平均 約220トン

2022年以降、中央銀行の買い入れは構造的に増加し、過去最高水準が続いている。



中央銀行の購入量は過去最高水準

- ✓ 2022年以降、買い越しが急増
- ✓ 2021～2025年平均は、過去平均を大幅に上回る
- ✓ 2026年も高水準を維持 *

なぜ中央銀行は金を買うのか？



① ドル依存の低減

米国債への依存度を下げ、通貨の多様化を進めるため



② 地政学リスク対策

制裁や資産凍結などのリスクに備えるため



③ インフレ対策

法定通貨の価値低下に備え、実物資産として保有するため



④ 発行体リスクなし

誰かの負債ではない資産だから

出典：Metals Focus、World Gold Council；データは2026年3月31日までのものです。
* データは四半期ベースの純購入量（売却を含む）。



中央銀行は“投機”で買っているのではない。国家の準備資産として買っている。

個人投資家も、中央銀行と同じ資産(ゴールド)を保有できる時代へ。

守りの資産=ゴールドで、未来のリスクに備える。



FANG+とゴールドを一本のETFで

iFreeETF

FANG+

ゴールド



攻めの最先端テクノロジー(FANG+)と
守りの安全資産(ゴールド)を
最適に組み合わせた
新しい投資ソリューション

銘柄コード **521A**

iFreeETF FANG+ゴールドの基本情報



| | |
|-----------|------------------------------------|
| 銘柄名・証券コード | iFreeETF FANG+ゴールド (521A) |
| 連動対象指数 | NYSE FANG+ PLUS GOLD指数 (配当込み、円ベース) |
| 決算 | 毎年6月、12月の各10日 |
| 委託会社 | 大和アセットマネジメント |
| 受託会社 | みずほ信託銀行 |
| 売買単位 | 1口 |
| 信託報酬 | 年率0.825% (税抜0.75%) 以内 |
| 上場日 | 2026年3月11日 |



1万円の投資で FANG+ 1万円相当 + ゴールド 1万円相当 合計2万円相当の投資効果を目指す

ETFの投資構造



当ETFの純資産総額
(実際の投資額)

純資産総額の200%相当
(実質的な投資額)

合計 **200%** 相当の投資効果を目指す

投資イメージの比較



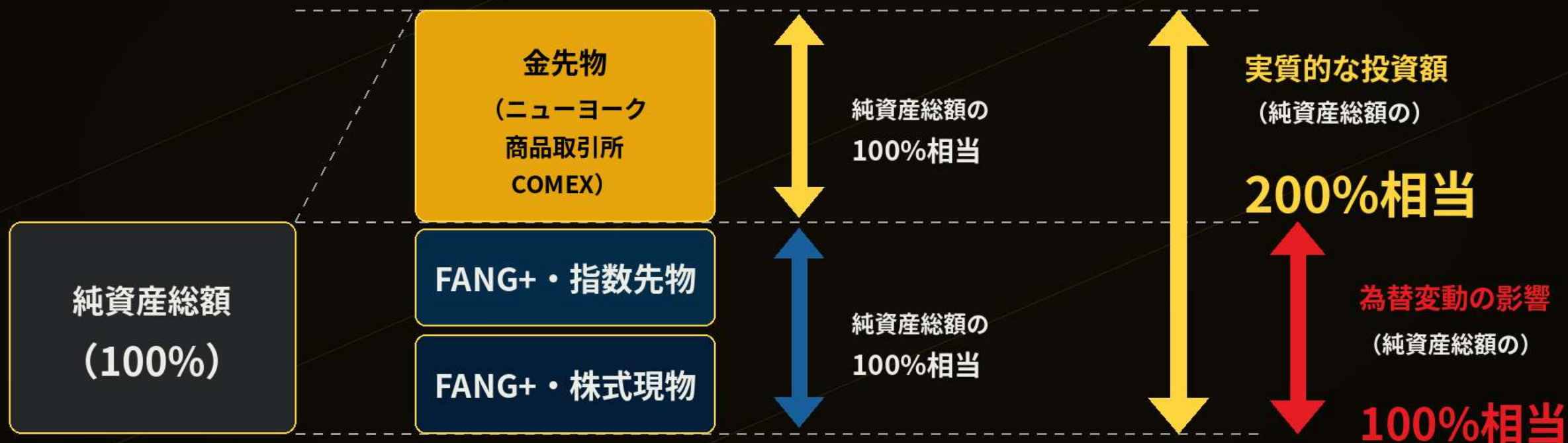
*NYSE FANG+指数のことをFANG+といいます。 *実際の運用は、純資産総額の合計が200%とならない場合があります。

*レバレッジ効果のため基準価額変動リスクの大きいETFです。投資の際には慎重にご判断ください。

※上記はイメージであり、当ETFの投資成果を示唆または保証するものではありません。

iFreeETF FANG+ゴールドの仕組み

- ☑ 先物取引を活用することで、純資産に対して**200%**相当額の投資をめざす
- ☑ **FANG+**は現物株式への投資に加えて先物取引を活用し、**ゴールド**は金先物取引を活用
- ☑ 為替変動の影響を受けるのは実際の投資額である純資産総額の**100%**相当



※上記はイメージであり、当ETFの投資成果を示唆または保証するものではありません。

※実際の運用は、純資産総額の合計が200%とならない場合があります。

パフォーマンス比較①

2016年1月～2026年6月

7,000

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

| ファンド名 | 最終値 | CAGR | リスク | 最大DD | S/R |
|-----------------------|--------------|---------------|---------------|----------------|-------------|
| FANG+ ゴールド | 5,815 | 47.72% | 29.46% | ▲48.67% | 1.62 |
| NASDAQ100 ゴールドプラス | 2,656 | 37.01% | 24.42% | ▲39.33% | 1.52 |
| FANG+ | 1,656 | 30.93% | 25.04% | ▲43.36% | 1.24 |
| NASDAQ100 | 754 | 21.40% | 18.72% | ▲32.59% | 1.14 |

*ファンドのコスト、配当は参考値で反映
 *スタートを100として指数化
 *為替は考慮していません
 *上記は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません

*本比較では、「FANG+ゴールド」はNYSE FANG+指数（100%）およびBloomberg Gold TR（100%）、「NASDAQ100ゴールドプラス」はNASDAQ100指数およびBloomberg Gold TR、「FANG+」はNYSE FANG+指数、「NASDAQ100」はNASDAQ100指数のパフォーマンスを示しています。



FANG+ゴールドが 最も弱い局面は？



1. 利上げ



3. リセッション



2. インフレ



4. 戦争

FANG+ゴールドが 最も弱い局面は？

正解は



1. 利上げ



FANG+は将来キャッシュフローを
現在価値で割り引く成長株

→ 金利上昇で株価が大きく下がりやすい。
(しかし近年は異次元の存在となりつつあり、
バリュエーションも低めであるため、割と耐性がある)



ゴールドも実質金利が上がると
魅力が減る

→ 持っていて利息がつかない。



結果、合成200%運用の
FANG+ゴールドは



+



=

ダブルパンチで
最も弱い局面に

両方の足を引っ張られる最悪の組み合わせになる。

第二章

FANG+ゴールドを信用取引

信用取引のイメージ

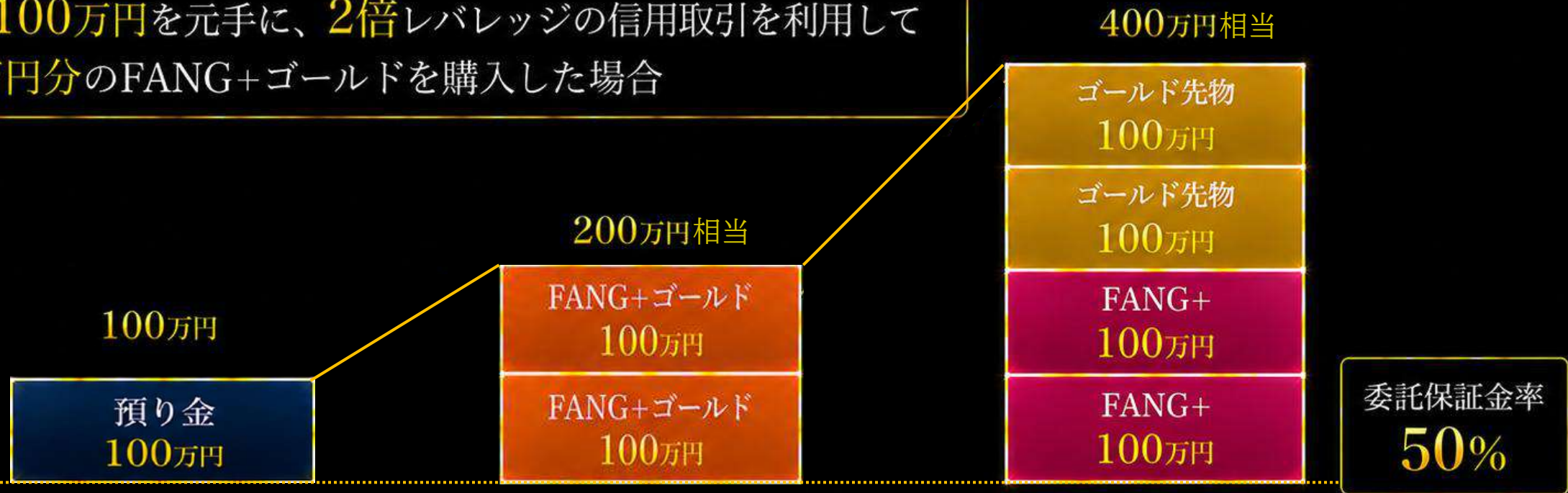


* 掛目は一般的に80%

* 125万円の投信 × 80% = 100万円

例えば、2倍レバレッジの信用取引で FANG+ゴールドを購入した場合のイメージ

預り金100万円を元手に、2倍レバレッジの信用取引を利用して
200万円分のFANG+ゴールドを購入した場合



※ リスク

- ▲ 価格変動リスク
- ▲ レバレッジによる損失拡大
- ▲ 強制決済リスク
- ▲ 金利コストの発生



レバレッジ（2倍）を活用することで、少ない資金でもFANG+とゴールドに分散投資が可能となり、投資効率を高めることができます。

※上記はイメージであり、
当ETFの投資成果を示唆または
保証するものではありません。

FANG+ゴールドを信用取引で買ってみよう

信用取引のリスク

① 追加保証金（追証／おいしょう）

委託保証金率が20%を下回った場合に発生。

追加入金、もしくは信用建玉の反対売買で解消される。

② 預り金不足発生

①の追証でも解消できなかった場合、

リアルな借金として証券会社から請求される。

信用取引で破産する典型例。

「追証」が来るとどうなるのか？

1



保証金率が**20%を下回る**と追証が発生。
口座管理画面に赤枠が発生してるので
異常事態に気づく（メールも連発）。

2



追加保証金の概算を教えてくれるので
その金額を入金するか、信用建玉を
反対売買して保証金率を**20%以上**に
回復させなくちゃいかん。

3



放置していると2営業日後に全ての信用建玉を
強制的に反対売買される。
以後信用取引を拒否される。

4



一旦追証が発生すると**株価が自然に回復**して
保証金率が**20%を回復**しても解消されない。
必ず追加入金か反対売買のアクションが必要。

5



信用建玉を損切りあるいは強制決済
され損金が発生すると保証金現金から
引かれる。保証金率が不足し保証
金が引き出せない、またはそもそも
**保証金現金が足りなければ、代用有
価証券が強制的に売却される**。この
投信から売却してほしいとかは通じ
ない。



これは普通の損切りでも
同じなので**要注意！！**

FANG+ゴールドを信用取引で買ってみよう

信用取引(買方)のコスト

*SBI証券の一般信用取引(無期限)を想定

| 種類 | 金額 |
|--------|---------------------------------|
| 取引手数料 | 無料 |
| 買方金利 | 年率 2.8% |
| 管理費 | 1株あたり税込11銭/月 下限110円~上限1,100円 |
| 名義書換料 | 1单元あたり5.5円 権利確定日ごと |
| 配当落調整金 | 配当額の84.685% 受取り |

*金利は新規約定建価格
(取得価格)に対して掛かる

*配当控除対象外

FANG+ゴールドを信用取引で買ってみよう

信用取引(買方)のコスト

*SBI証券の一般信用取引(無期限)を想定

| 種類 | 金額 |
|--------|---------------------------------|
| 取引手数料 | 無料 |
| 買方金利 | 年率 2.8% |
| 管理費 | 1株あたり税込11銭/月 下限110円~上限1,100円 |
| 名義書換料 | 1单元あたり5.5円 権利確定日ごと |
| 配当落調整金 | 配当額の84.685% 受取り |

これらのコストは
じりじりと委託保証金率に
下落圧力が掛かる...

*金利は新規約定建価格
(取得価格)に対して掛かる

*配当控除対象外

FANG+ゴールド 信用買い (レバレッジ2倍) シミュレーション前提条件

投資対象

- FANG+Gold
- FANG + 100% + Bloomberg Gold TR 100%
- 信託報酬年率0.825%控除済み

シミュレーション期間

- 2016年1月～2026年6月
- 月次データを使用

初期条件

- 預り金 (純資産) 100
- FANG+Goldを信用取引で200保有
- 実質レバレッジ2倍
- 委託保証金率50%でスタート

信用取引ルール

- 保証金率45%未満
→ 建玉を売却し保証金率50%へ調整
- 保証金率55%超
→ 信用買い増しを行い保証金率50%へ調整
- 保証金率45%～55%
→ 建玉維持

買方金利

- 年率2.8%
- 信用買建玉の取得価額ベース
- 建玉調整時は取得価額も比例調整

税金

- 特定口座を想定
- 譲渡益課税20.315%
- 売却時に利益が発生した場合のみ課税
- 信用建玉は建日順 (FIFO方式) で返済
- 損益通算・繰越控除は考慮せず
- 税額は簡易計算

免責事項

- 本シミュレーションは過去データを用いたバックテストであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 月次データを用いているため、実際の信用取引で行われる日次の保証金率判定や追証判定は反映していません。
- 市場急変時には月中に保証金率が大幅に低下し、追加保証金 (追証) や強制決済が発生する可能性があります。
- 税金は簡易モデルによる試算であり、実際の特定口座の税額とは異なる場合があります。
- 本シミュレーションは投資判断を推奨するものではなく、最終的な投資判断はご自身の責任で行ってください。

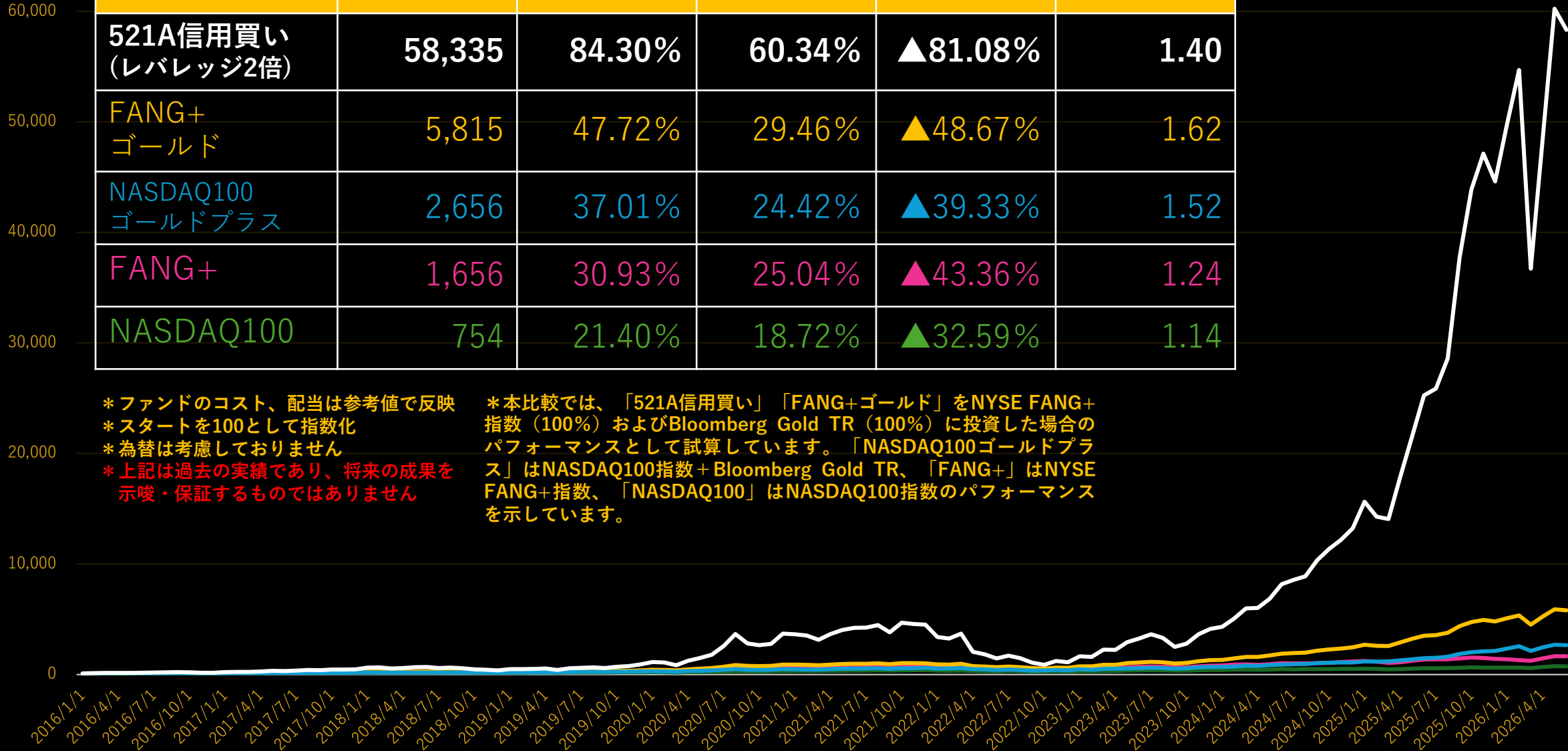
パフォーマンス比較②

2016年1月～2026年6月

| ファンド名 | 最終値 | CAGR | リスク | 最大DD | S/R |
|-----------------------|--------|--------|--------|---------|------|
| 521A信用買い (レバレッジ2倍) | 58,335 | 84.30% | 60.34% | ▲81.08% | 1.40 |
| FANG+ ゴールド | 5,815 | 47.72% | 29.46% | ▲48.67% | 1.62 |
| NASDAQ100 ゴールドプラス | 2,656 | 37.01% | 24.42% | ▲39.33% | 1.52 |
| FANG+ | 1,656 | 30.93% | 25.04% | ▲43.36% | 1.24 |
| NASDAQ100 | 754 | 21.40% | 18.72% | ▲32.59% | 1.14 |

* ファンドのコスト、配当は参考値で反映
 * スタートを100として指数化
 * 為替は考慮していません
 * 上記は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません

* 本比較では、「521A信用買い」「FANG+ゴールド」をNYSE FANG+指数（100%）およびBloomberg Gold TR（100%）に投資した場合のパフォーマンスとして試算しています。「NASDAQ100ゴールドプラス」はNASDAQ100指数+Bloomberg Gold TR、「FANG+」はNYSE FANG+指数、「NASDAQ100」はNASDAQ100指数のパフォーマンスを示しています。



信用買いの方法

国内株式

銘柄名・コード・キーワード [検索オプション](#)
[決算発表スケジュール](#)

さがす 株主優待 業種 スクリーニング チャート形状 銘柄比較

iFreeETF FANG+ゴールド (521A) [スマート](#) [IR](#) [ヒートマップ](#)
[ポートフォリオへ追加](#) [株価](#) [全板](#)

東証ETF(当社優先市場) PTS [PTS株価比較](#) [SOR現] [無期限買] [信用] [日計買] [TYPE] [金利](#) 1.1%

株価 ニュース チャート 評価レポート 四季報 株主優待 分析 [時間表示](#)

現在値 **1,945** ↓C 前日比 +15 (+0.78%) (26/06/16 15:30)

| | | | |
|----|---------------|------|------------------|
| 始値 | 1,969 (09:00) | 前日終値 | 1,930 (26/06/15) |
| 高値 | 1,986 (09:02) | 出来高 | 169,957 (15:30) |
| 安値 | 1,941 (10:28) | 売買代金 | 332,285 (千円) |

| 売気配株数 | 気配値 | 買気配株数 |
|--------|-------|--------|
| -- | 成行 | -- |
| 92,559 | OVER | |
| 5,000 | 1,968 | |
| 5,000 | 1,967 | |
| 5,021 | 1,966 | |
| 5,182 | 1,965 | |
| 5,000 | 1,964 | |
| 166 | 1,962 | |
| 30 | 1,960 | |
| 30 | 1,955 | |
| 10 | 1,954 | |
| 50 | 1,953 | |
| | 1,941 | 7,100 |
| | 1,940 | 12,136 |
| | 1,939 | 2,301 |
| | 1,938 | 2,002 |
| | 1,937 | 2,000 |
| | 1,936 | 2,005 |
| | 1,935 | 2,355 |
| | 1,934 | 16,000 |
| | 1,933 | 2,001 |

5分足 26/06/16 15:30

詳細チャートへ

1日 1ヶ月 3ヶ月 6ヶ月 1年 3年

投資指標 -

現物買 現物売 信用買 信用売

積立

情報表示 通常 詳細 稼働 停止 ON OFF 自動更新

注文入力(信用新規買)

iFreeETF FANG+ゴールド (521A)

現在値 **1,945** ↓C 前日比 +15 (+0.78%) (26/06/16 15:30)

| | | | |
|------|------------------|-----|-----------------|
| 始値 | 1,969 (09:00) | 高値 | 1,986 (09:02) |
| 前日終値 | 1,930 (26/06/15) | 出来高 | 169,957 (15:30) |

通常/逆指値 OCO IFD IFDOCO

通常/逆指値

取引 信用新規買

市場 東証

株数 売買単位: 1

価格 指値 円
制限値幅: 1,545 ~ 2,345(26/06/17)

成行

逆指値

期間 当日中 今週中 期間指定 26/06/18

預り区分 特定預り

信用取引区分 制度(6ヶ月) 一般(無期限) 日計り

指値・成行など
基本的には個別株と同じ

信用取引区分は
「一般(無期限)」を選んで
ください

口座サマリー

特定口座(源泉徴収) 配当受入

お客様の積立投資の設定詳細はこちら

My資産

買付単価加評価単価加等の表示について

信用取引に利用のお客様への注意事項

信用建余力

詳細

信用建余力

現引可能額

委託保証金現金

代用有価証券評価額合計

詳細 / 代用有価証券

評価損・決済損益・支払諸経費等合計

実質保証金(A)

建代金合計(B)

委託保証金率(A/B)×100

参考委託保証金率

リアル委託保証金率

買付余力

詳細

買付余力(2営業日後)

(3営業日後)

ポイント数

詳細

NISA投資可能枠

詳細

投資可能枠(2026年) - NISA(成長投資枠)

投資可能枠(2026年) - NISA(つみたて投資枠)

保有資産評価

詳細

現金残高等(合計)

SBI証券口座分

スイープ専用銀行口座

投資信託

建玉評価損益額

詳細 / 信用建玉

計

委託保証金率の確認方法

SBI証券TOPページ



口座管理



サマリー



委託保証金率(A/B)×100

別にFANG+ゴールドじゃなくたってかまわない お好みのETF・個別株を信用買いしてみよう



グローバルX 半導体
ETF (2243)

グローバルX 半導体関連
- 日本株式 ETF (2644)

キオクシア
ホールディングス (285A)



iFreeETF NASDAQ
100 (為替ヘッジなし)
(2840)

iシェアーズ NASDAQ
トップ 30 ETF (392A)



iシェアーズ・コア
日経225 ETF (1329)

iシェアーズ・コア
TOPIX ETF (1475)

ご清聴ありがとうございました

【株式会社SBI証券からのご注意事項】

本セミナーは投資判断の参考となる情報提供を目的としており、投資結果を保証するものではありません。実際に投資される場合は、ご自身で判断いただきますようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社、および情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製、または販売等を行うことは固く禁じます。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）、店頭CFD取引（SBI CFD）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。

各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

商号等：株式会社SBI証券（金融商品取引業者、商品先物取引業者）

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、
一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、
一般社団法人日本暗号資産等取引業協会